

記 者 発 表 （ 発 表 ・ 資 料 配 布 ）				
月／日 (曜日)	担 当 課 (室) 班 名	電話番号 (直通)	発 表 者 名 (担当主幹名)	発表 その他の 先 配付
10／31 (月)	高 校 教 育 課 教 育 指 導 班	内線 5736 (078-362-9444)	清 瀬 欣 之 (千 家 弘 行)	

「数学・理科甲子園 2016」の開催について

小・中・高等学校を通じた総合的な理科及び算数・数学教育の充実を図るため、平成 18 年度から実施している「数学・理科甲子園」を開催します。

「数学・理科甲子園」は、平成 23 年度から「科学の甲子園全国大会兵庫県予選」と位置付けられ、今年度 3 月に茨城県つくば市で開催される「第 6 回科学の甲子園全国大会」の兵庫県代表を選考する予選も兼ねています。

今年度は、兵庫県内の高等学校及び高等専門学校から 74 チーム 535 人の生徒が参加します。当日、応援など学校関係者に限らず、一般の方どなたでも観戦できます。

(1) 趣 旨

高校生が、数学、理科、科学技術等の知識、技能を用いて、日常生活と関連づけながら科学的に問題を解決するとともに、論理的に説明することによるプレゼンテーション等を行い、互いに切磋琢磨することにより、科学技術等に対する興味・関心、意欲・能力を高めることを目的としています。

また、本大会を「科学の甲子園全国大会」の兵庫県予選と位置付け、科学好きな生徒らが集い、競い合い、活躍できる場を構築し、提供することで、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目的としています。

県内の高校生及び高等専門学校生が、数学、理科、科学技術等の知識や技能を用いて、日常生活と関連づけながら問題解決能力を競い、優勝を目指します。

(2) 主 催 兵庫県教育委員会

(3) 後 援 甲南大学

(4) 日 時 平成 28 年 11 月 5 日 (土) 10 : 00 ～ 17 : 00

(5) 場 所 甲南大学 講堂兼体育館 〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

(6) 出場チーム

公立、私立高等学校、国立中等教育学校及び県立特別支援学校 74 チーム出場
1 校 1 チーム、チームは同じ学校の 1，2 年生の生徒 6 ～ 8 人で構成する。

(7) 表 彰

優勝 1 チーム、準優勝 1 チーム、3 位 2 チーム、奨励賞数チーム

優勝チームは、平成 29 年 3 月 17 日 (金) ～ 20 日 (月) に茨城県つくば市で開催される「科学の甲子園全国大会」に兵庫県代表として出場する。

(8) 審査委員

大学教授等

(9) 対戦方法

① 予選（筆記競技）

ア 内容

数学分野・理科分野の筆記試験

個人戦 8問（数学分野2問、理科分野6問）個人で問題を解く。

団体戦 8問（数学分野2問、理科分野6問）すべて5択問題で、協力して解く。

イ 方法

予選は個人戦、団体戦でのチームの総得点で競い、総得点の高いチームから上位16チームが本選に進む。なお、同点の場合は、団体戦の得点の高い方を優先する。

② 本選（実技競技）

ア 内容

16チームが、数学分野と理科分野の両方の課題に取り組む。

数学分野：数学に関する論理的な思考力、表現力を問う問題。

理科分野：理科に関する総合的な知識を用いて、課題工作等に取り組む問題。

イ 方法

数学分野及び理科分野の得点、予選の点数を考慮した得点の合計点の高い上位4チームが決勝に進む。

③ チャレンジマッチ

ア 内容

予選敗退チームが対象。1チーム3人58チーム出場。

数学と理科の問題を解いていく。解答は3択形式。

イ 方法

1題ごとに勝ち残り方式で実施し、1題間違えた段階で敗退し、上位チームを表彰する。ただし、チャレンジマッチから決勝には進めない。

④ 決勝（実技競技）

内容

身近な現象の原理を使って、与えられた課題を解決し、さらに自分たちの考え方を実物投影機を使って説明する。1チーム6人4チーム出場。

(10) 近年の成績

① 平成25年度（数学・理科甲子園2013）

優勝：灘高等学校、2位：県立神戸高等学校

3位：西宮市立西宮高等学校、県立小野高等学校

② 平成26年度（数学・理科甲子園2014）

優勝：白陵高等学校、2位：西宮市立西宮高等学校

3位：神戸大学附属中等教育学校、県立宝塚北高等学校

③ 平成27年度（数学・理科甲子園2015）

優勝：県立尼崎稲園高等学校、2位：県立宝塚北高等学校

3位：西宮市立西宮高等学校、神戸女学院高等学部

(11) 問合せ先

県教育委員会事務局高校教育課 TEL 078-341-7711（内線5743）FAX 078-362-4288